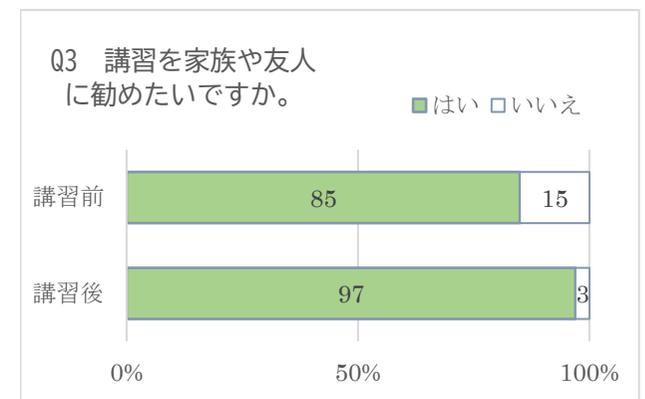
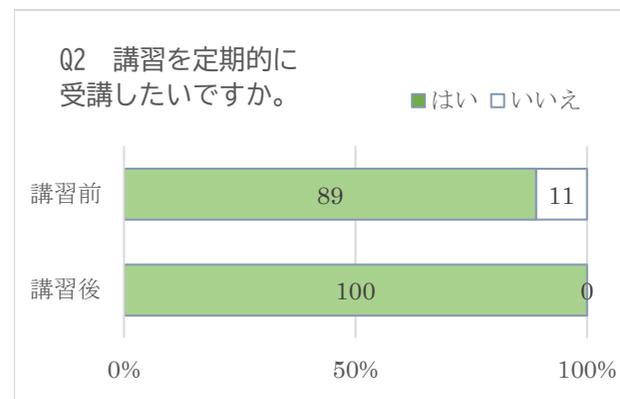
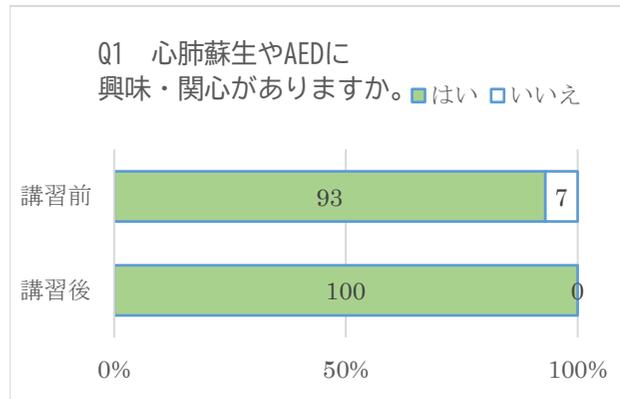


## 令和7年度 第1回 PUSH 講習会アンケート結果

講習会に参加した生徒の受講前後の意識および知識の変化を以下にまとめました。定期試験最終日の疲労が蓄積している頭と身体にも関わらず、参加した生徒は、講習に集中し、隣りにいる友人と協力して、真剣に取り組んでいました。

### 【意識の変化】



今回は珍しく、1年福祉委員だけでなく希望者も全員1年生でした。日大習志野高等学校でのPUSH講習会が始まって以来、初めて事後アンケートでQ1とQ2が100%になりました。一度だけでなく、繰り返し心肺蘇生について学ぶ重要性をしっかりと理解してくれたようです。一方、家族や友人に勧めたくないという生徒は3%いました。自分の周りの人が知識と技術を身につけていれば、自分が心停止になった時に助けられる確率も上がります。「自助・共助・公助」という言葉がありますが、救命はみんなで助け合う「共助」です。周りの人たちに声をかけ、協力者を巻き込みながら「チームで救命」していきましょう。



【知識の変化】 講習を受けることで正しい知識が定着したか、講習の効果を確認しました。講習前後で以下の質問に回答してもらいました。

《質問》

《回答と正答率》

- ① 目の前で倒れた人に声をかけても反応がない場合、救急隊が来るまで身体には触れずに様子を見る。
- ② 倒れてから1分経過するごとに救命率は約10%低下する。
- ③ 呼吸をしているかどうかわからない時は、胸骨圧迫はしてはいけない。
- ④ AEDは心電図を解析した後、全ての人に電気ショックをして心臓をもとの動きに戻す。
- ⑤ AEDは電気ショックの後、倒れた人の意識が戻ったら誤作動を防ぐためにパッドを外す。
- ⑥ 救命できた場合でも、ストレスで不安になったり、眠れない、気持ちが落ち込むことがある。

- |   |     |     |         |          |
|---|-----|-----|---------|----------|
| ① | いいえ | 正答率 | 受講前 70% | 受講後 96%  |
| ② | はい  | 正答率 | 受講前 89% | 受講後 100% |
| ③ | いいえ | 正答率 | 受講前 41% | 受講後 100% |
| ④ | いいえ | 正答率 | 受講前 67% | 受講後 89%  |
| ⑤ | いいえ | 正答率 | 受講前 7%  | 受講後 74%  |
| ⑥ | はい  | 正答率 | 受講前 96% | 受講後 100% |

### 【生徒の感想】(一部抜粋・原文)

- ・救命行為をするのには不安があったが、講義を受けて勇気を持って行動することが大切だと学びました。
- ・実際に体験してみて、胸骨圧迫の強さやリズムがよく分かりました。胸骨圧迫ができる人が増えれば、助かる人が増えると思うのでみんなに広めていきたいです。
- ・自分の周りでは起こらないだろうと他人事に思わずにほんの少しの勇気で救える命があるということを忘れないようにしたいです。一番大事なのは自分をプッシュすることだと学びました。
- ・呼吸をしているかわからなくてもとりあえず胸骨圧迫を行うということを知ることができました。今日受けた講習を数ヶ月経ったらきっと忘れてしまっているの定期的に受講していつどこで何が起きたとしても冷静に対応できるようにしたいと思いました。今日受けた講習がもしもの時に行えるように覚えておきたいです！ありがとうございました！
- ・AEDを使うのが大切だと思っていたけど、ただ使うのではなく、電気ショックを与えるまでに胸骨圧迫をし続けることが何よりも大切だと学びました。

《他にもたくさんの素晴らしい感想をもらいました。》